

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



当初は暖冬であらうと予想されていたが、結果的には例年どおりの寒い冬でございました。しかし、さすがに三月の声を聞きますと、そこに春の気配がうかがえます。さて、私も今年で知事就任以来三年目を迎えることになりました。この二年間、県政の各分野でいろいろな種をまいてまいりましたので、これからは、こういった種が芽を出し、大きく育つように水をやり、肥料を施したりしてまいりたいと考えています。すでに芽を出し始めたものもいくつかございます。

県政トピックス

早春に緑の風。植木市開かれる

一月下旬から三月初めにかけて、「農協植木まつり」（於熊本市東町）と「春の植木市」（於熊本市白川河川敷）が開かれた。二つの植木市には合わせて、約二百万点もの庭木類が出品され、春先の暖かい陽気に誘われて、連日、たくさんの方が繰り出した。



魅力ある熊本の精神文化を求めて。熊本スピリッツ運動スタート



一月三十日、RKK会館で「犬養智子講演会」が開催された。講演に先立ち、細川知事があいさつの中で、「熊本スピリッツ運動」を提唱し、「簡易・善良・素朴」など、すぐれた熊本の精神文化を見直そうと呼びかけた。犬養さんは「ビューティフルに生きる」と題し、女性の生き方について講演した。

早期開通への第一歩。九州新幹線熊本着工準備作業所開設

一月二十六日、熊本駅構内にある熊本鉄道管理局で、九州新幹線熊本着工準備作業所の開所式が行われた。これは、九州新幹線実現への第一歩でもあり、参加者は、開設を祝うとともに、早期着工への決意を新たにしていた。



優れた地域リーダー育成のために。熊本けんみん大学開校



一月三十一日、自由に幅広く活躍する地域リーダーを育成するため、行政・企業・団体が一体となって設立した「熊本けんみん大学」が開校した。六月末まで、六回にわたって、鶴屋百貨店七階ホールを主会場に、講演とパネルディスカッションが行われる。なお、六回全て聴講された方には受講証書が授与されることになっている。

和・洋・中華料理からカクテルまで。第2回くまもと旅の味フェア

二月十六、十七日の両日、熊本市新市街で「くまもと旅の味フェア」が開かれた。熊本の味を発掘しようとい始められたもので、和・洋・中華の料理約二百五十品が展示されたが、なかでも、バーテンダー協会による県産酒を利用したカクテル作りが人気を呼んだ。



「青年年」賑やかに開幕。

「国際青年年」オープニングセレモニー

二月二十四日、県立図書館大ホールにおいて、約七百人の出席者を招いて、「国際青年年」オープニングセレモニーが華々しく行われた。「国際青年年」は、青年の役割、貢献の重要性を見直そうと、国連総会で設定されたもの。県内でも、青年を主役とした様々な行事が予定されている。



例えば、年明けからの三か月間だけを見ても、一月末に、技術情報都市構想の実現段階として、キングス（熊本情報案内システム）による情報サービスの提供が開始されましたし、今月には、ちょうど一年前に国の指定を受けたテクノポリスの核となる施設、電子応用機械技術研究所がオープンします。また、県民の健康を守る砦として期待される健康センターも施設が完成し、オープンを目指して準備中でございます。

ところで、今年は、昭和が人にとえれば、選暦を迎えるめでたい年でもあります。それを記念するかのようには、本県においては、天皇、皇后両陛下をお迎えして行われる全国植樹祭をはじめとして、数々のイベントが開催されることになっていきます。なかでも、今年二月一日から阿蘇で開催される「炎の宴」は、まさに火の国熊本にふさわしい火祭りであり、「日本列島の春は阿蘇の野焼きから明け始める」という、日本の春の一大イベントとして育て上げていきたいと考えています。

来月は陽春四月。新年度、新学期を迎えます。希望に燃えて、就職、進学など新たな出発を迎えられる方も多く存じます。それぞれの皆さんの御活躍を心からお祈りします。

